

Counseling Room

家庭問題カウンセリングルーム

第152回

公益社団法人
家庭問題情報センター

すずき かつあき
鈴木 克明

面会交流の日程調整が苦痛なんです

知里（仮名）さんは三十五歳。八年前に婚姻し、六歳になる長男の健太（仮名）君がいます。但し、ごだわりが強く自分勝手な夫の態度に耐えられなくなり健太君を連れて家を出て別居しました。別居後、面会交流には積極的に応じてきましたが、夫からの要求が次第にエスカレートして体調も崩すようになってしまい相談に訪れました。

知（知里） 現在、長男と二人暮らしで、月に一〜二回面会交流を実施しては

ますが、夫とのメールでのやりとりが苦痛で困っています。

カ（カウンセラー） もう少し詳しく事情をお聞かせください。

知 夫は融通が利かず、ごだわりが強い性格で、思いどおりに物事が進まないという「何でだ!」と問い詰めて追い込んでくるところがあり、一緒にいるのが精神的に辛くなったので一年前に健太を連れて家を出て別居しました。夫に対して離婚の申入れをしましたが「戻って来い」と言われるだけで話合

を考えています。面会交流については、離婚の話し合いがつかまでは認めないでおこうとの思いもありましたが、健太は夫によく懐いていたし、夫も健太には優しく接してくれていたため、夫の求めに応じて月に一〜二回の面会を実施していました。

健太が、父親に対して悪いイメージを持って育つことがないようにしたかったので、父親の悪口やマイナスになるようなことは言わないようにして育ててきました。また、面会時間についても、ゆっくり遊べるように午前中から夕方まで丸一日認めて実施してきました。

カ お子さんにとってのお父さんの存在を大事に考えて対応してきたんですね。

知 はい。健太の父親は夫だけです、自分の父親のことをよく知って育つことが健太の成長に大事なことで考えています。ただ、健太は今年から小学校に入学し、習い事も新しく始めて、学校行事を含めると土日はかなり忙しくなっているため、これまでどおりの面会は難しくなると考えています。しかし、夫からは「父親との時間は重要だからもっと機会を増やすべきだ。面会の回数をもっと増やしたい。宿泊も認めてほしい。実家の両親にも会わせ

たい」などと、要求がどんどんエスカレートするようになってきて困っているところですよ。

カ お子さんの様子はいかがですか。

知 健太は、夫のことが大好きで、面会交流も楽しんでるようです。一方で、小学校に入学後、予定が過密になってきているので、少し疲れ気味のところが、夫との面会交流の回数や時間を短縮したほうがよいのではなにかと考えています。私自身も仕事をしながらの育児で忙しいですし、夫から要求されている面会日数は辛いものがあります。そのことを伝えても「なぜだめなんだー」と問い詰められて、分かってもらえません。夫とのやりとりが負担で、気分も少し落ち込み気味となり、心療内科にも通い始め、仕事に影響が出ないか心配しているところです。こうした状況なので、面会実施時は、なるべく夫とは話をしないように対応していますが、このことも夫は不満なようで「健太の前ではもっと友好的な態度を示せ！」と責められています。

カ どなたか協力してくれる方はいらっしゃらないのでしょうか。

知 私の両親は夫を嫌っているので難し

いですし、私のきょうだいも忙しいので頼める人はいません。夫の親族にも、信頼できる人はいない状況です。

カ ところで、夫の両親との面会は、どのように考えたらよいでしょうか。

カ 健太君を取り巻く親族として、父方の祖父も大事な存在です。同居中の交流の状況や、健太君自身が父方祖母のことをどのように考えているかを確認しながら対応を考えてはいかがでしょうか。

知 そうですね。健太の気持ちを確認しながら進めたいと思います。夫との話し合いはどのように進めればよいでしょうか。

カ 知里さんにかかなりの負担がかかっているようなので、第三者を入れた形での話し合いが必要だと思います。離婚調停をお考えとのことなので、その中で面会交流についても話し合いをしてみたいかがでしょうか。知里さんや健太君の生活時間、健太君の希望などを踏まえて、無理のない頻度で長続き出来る取決めをする必要があると思います。

知 夫との間で取決めをした後は、私が我慢しながら何とかしていかないとはいけないということなんですね。

カ どうしてもご自分たちだけでの実施が難しい場合には、第三者機関を利用して支援を受けることも考えられます。第三者機関を利用する場合、付添い型や受渡し型などの支援を受けることが多いかと思いますが、知里さんの場合は、健太君の受渡しはご自分たちでできるわけですから、面会実施の日時や場所などを決めるだけの連絡調整型支援だけを受ければよく、その場合は費用もさほどかからなくて済むかと思えます。日程調整に特化したスマホ用のマッチングアプリなどもあるようなので、利用をお考えになってみてはいかがでしょうか。

知 日程調整だけの支援をしてくれる第三者機関もあるんですね。連絡調整のマッチングアプリを含めて、ネットで調べてみようと思います。

.....
カウンセラーは、知里さんが、夫と健太君の面会交流について、無理なく長く続くことができる取決めを早く確立して、円滑な面会交流が早期に実現することをお願いながら後ろ姿を見送りました。

